

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 臨時 号)

2020年12月 4日発行

兵庫のみ研究所

前回 (11/29) 調査同様に、小型珪藻キートセロスはこの海域西部において多く確認されており、その海域の窒素は低い状況にあります。それ以外の海域の窒素は全般に  $2 \sim 3 \mu\text{g-at/L}$  台でした。

(水温) 漁場内平均  $17.4^{\circ}\text{C}$ 。平年より  $1.7$ 、昨年より  $2.0^{\circ}\text{C}$  とともに高い。

(栄養塩、珪藻) コシノディスカスは別府～二見周辺で海水1Lあたり  $30 \sim 100$  細胞とやや増加していた。この海域西部で多く発生している小型のキートセロスの発生量は前回調査と比較し大きな増減は認められず、同域の窒素は低い状況が続いている。明石海峡部周辺の窒素は  $4 \mu\text{g-at/L}$  前後となっており、上げ潮時ということもありその海水の影響が見られた林崎新漁場西部以東の窒素は  $3 \mu\text{g-at/L}$  台、二見東部～江井ヶ島周辺の窒素は全般に  $2 \mu\text{g-at/L}$  台であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	18.2	17.4	15.7	15.4
窒素	3.1	2.6	6.6	2.2
リン	0.50	0.51	0.61	0.50

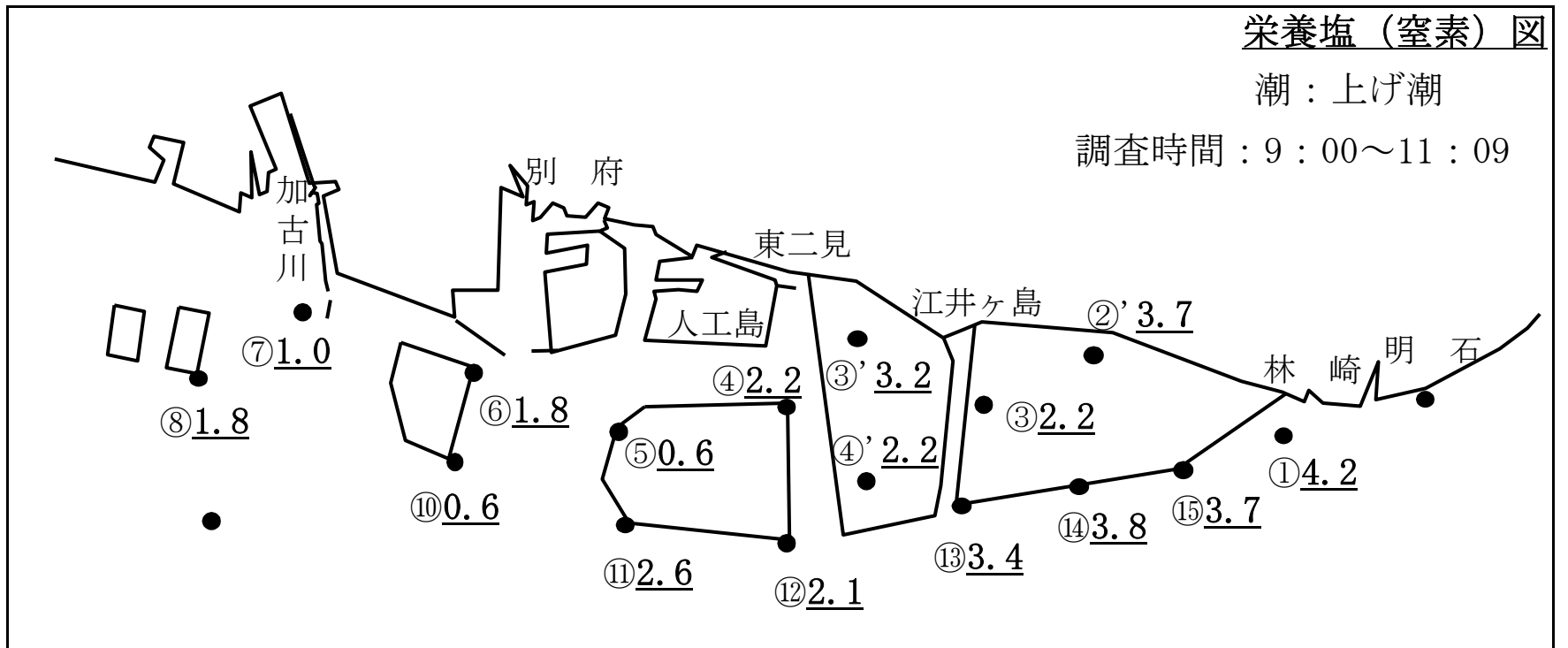
(11/29) (12/6)

2020年12月 4日調査

## 栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ潮

調査時間：9:00～11:09



## 水温図

